

石油連盟 2008年 10大ニュース



1. 原油価格の高騰と急落

7月に140ドル(WTI)を超える高値を付けて以降、一転して米国の金融不安に端を発した世界的な景気減速などにより、40ドル台まで下落

2. 道路特定財源の一般財源化反対運動の展開

街頭イベント、総決起大会および緊急声明取り纏めなど反対運動を展開
まず納税者の理解を得ること、一般財源化するならばTAX ON TAXを排除すべき

3. ガソリン税等の暫定税率の廃止と復活

ガソリン税等の暫定税率は3月末に期限切れ、5月には復活
石油業界は在庫の確保、輸送体制の増強など、全力をあげて安定供給を確保

4. 代エネ法廃止とエネルギー政策の見直し

代エネ施策の見直し、エネルギーの有効・高度利用に向けた制度設計が検討
石油の位置づけ確保、エネルギー間の競争条件の公平化を主張

5. 公正・透明な価格体系への取り組み

一部の元売において卸価格体系を製品マーケットベースに変更する動きあり

6. 排出量取引の国内統合市場の試行的実施の参加者募集始まる

排出量取引制度設計の課題や投機資金流入による弊害などの検証と、実効性ある排出削減につながる日本型モデルの構築に期待

7. バイオマス燃料導入に向けた着実な対応

バイオガソリン(バイオETBE配合)試験販売を、関東圏ほか100SSに拡大
北海道洞爺湖サミットでバイオガソリンを供給
品確法改正(混和業者の登録制等)、ガソリン税の免税制度の成立

8. 長期エネルギー需給見通しのとりまとめ

新・国家エネルギー戦略目標とエネルギー技術戦略を踏まえて策定
2030年も石油はわが国の一次エネルギーの約4割を占める主要なエネルギー

9. 今後の石油産業の方向性についてとりまとめ

2月の石油分科会において、需要減少、白油化の進展、原油価格の高騰などの環境変化に加え、地球温暖化問題への対応など困難な課題に直面する石油産業に対し、安定供給の重責を担うに足る強靱な産業の構築に向けた事業展開を提言

10. 石油連盟 新会長就任

第19代石油連盟会長に、天坊昭彦 出光興産(株)代表取締役社長が就任